

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

きょう がつ にち しょうわ ひ
今日は 4月29日、昭和の日です。いつもなら大型連休を楽しみにしていた頃でしょう。この新型コロナウイルス

せかいてきかんせんかくたい じたい わたし き の う にち よるおそ かえ
ルの世界的感染拡大という事態がなければ、私は、昨日、28日の夜遅く、アメリカのマイアミから帰って

るはずでした。4年に一度開かれる世界聖心校長会が、今回はアメリカのマイアミで予定されていました。

せかい かこくほど こ せいしんじょしがくいん こうちようせんせい が た がくいん みらい かた あ たの
世界30カ国程、140 を超える聖心女子学院の校長先生方と、学院の未来について語り合えるのを楽し

にしていただけに、中止となって本当に残念でなりません。

せめてもマイアミの学校に行った気分を味わおうとホームページを開いてみると、美しいキャンパスの映像

とともに、ある言葉が目にとまりました。「While we are apart, our ♥ is with you. (離れていても、私

たちの心は皆さんと一緒にいますよ)」という、児童生徒への先生方からのメッセージです。「一緒にいる。」

これは世界中のどの聖心女子学院も大事にしている聖書のみことばから来ているのでしょうか。「わたしはぶ

どうの木、あなた方はその枝である」(ヨハネによる福音書15章) イエス様とつながって一緒にいるから大丈夫

なのです。マイアミの学校紹介動画によれば、教室への入り口に立つイエス・キリストのご像は、このみこと

ばの書かれた書物を持っていました。

みな ぜん そん そうりつしゃせい じしん たびたび こ はな
皆さんもよくご存じのように、創立者聖マグダレナ・ソフィアご自身、度々、子どもたちに話しておられたみこ

とばです。故郷のジョアニーで幼い頃からぶどう畑に親しみながらお育ちになったことからわかるように、

せい さま き
聖マグダレナ・ソフィアとイエス様のつながりのはじまりともいえるのが、ぶどうの木なのです。

せかい せいしんじょしがくいん げんざい きゅうこうちゅう く に こ せんせい
世界の聖心女子学院は、現在、ほとんど休校中でしょう。でも、どの国の「みこころの子どもたち」も、先生

が た さま かみさま おも たいせつ いっち とき す
方も、イエス様につながり、神様につながっているという思いを大切に、一致してこの時を過ごしていることと

おも
思います。そして、フランスで幾度となく人につうつる病気の流行を体験された聖マグダレナ・ソフィアが、世界

じゅう こ みまも ちが わたし しん
中の「みこころの子どもたち」を見守ってくださるに違いないと私は信じています。



ジョアニーのぶどう畑